

発達支援コラム①

こどものはったつ相談室

第1回テーマ 「友達に手を出してしまう子への対応」



毎日の子育てが少しでも楽になるよう、小川小学校の通級指導教室「まなびの教室」教諭 森亜矢子先生によるコラムを6回にわたり連載します。

問合せ こども相談センター

TEL 626-1165 FAX 626-2187

何回注意をしても、問題行動を繰り返してしまいう子つていますよね。問題行動は、どうして起きるのでしょうか？友達に手を出してしまう子どもへの対応について、『学びの状態』と照らし合わせて考えてみたいと思います。

子どもの問題行動の背景

①友達と関わる時に、どうすればよいか学んでいない（未学習） ②どうすればよいか分かっていても、十分にうまくできない（不足学習） ③友達と関わる手段として、不適切な行動を学んでしまっている（誤学習） ④報われない経験を積み重ねてきていて、不満がある（二次的な問題）

このように、背景には「分からなくてうまくできない」という子どもの教育的ニーズが存在しています。背景にあるものが全然違うのに、現象だけ見て同じように叱責してしまうケースが一般的にとっても多いです。①の子の場合、どうすればよいか分からない訳ですから、「何で同じことを

繰り返すの！」と怒られても、何の解決にもなりませんよね。次のように、その段階（学びの状態）に合わせたアプローチを試みることをお勧めします。

問題行動の背景へのアプローチ

①の子には、分からないで困っているのだから、友達との関わり方や遊び方を具体的に教える ②の子には、スキルが未熟なので、『その子のできるレベルから練習をする』（例）「一緒に遊ぼう」と声を掛ける練習から始める ③の子には、間違った方法を修正し、『正しい方法・望ましい方法を教える』（例）友達と遊びたい時は、叩いたりちよっかいを出したりするのではなく、「一緒に遊ぼう」と言うことを伝える ④の子には、100%達成できる目標を掲げ、できたら褒めて『成功体験を味わわせる』叱責を繰り返してお互い辛い思いをし続けるよりも、「今度はこうしてごらん！」と、『適切な行動を促す支援』をしていきたいものですね。